

巻頭言

特集テーマ「チャールズ・ウエスレー」に寄せて

山内一郎

今年（2007）はチャールズ・ウエスレー（1707－1788）生誕300年に当たります。日本ウエスレー・メソジスト学会は、第9回総会・研究会の会場をはじめ関西に移し、9月10日（第一日）に記念礼拝と公開シンポジウムをもちました。田添禧雄会長、藤本満書記をはじめ学会委員諸氏のご尽力、そして関西学院大学神学部の協力を得て、全国の学会員、近隣の教会、学校からの一般参加を合わせ出席者120名を超える盛会でした。

記念礼拝では取材のために来られた『礼拝と音楽』編集者小宮郁子氏が立派にオーガニストを務められ、説教の中で木ノ協悦郎神学部長はアウグスティヌス－エラスムス－アルミニウスが切り結ぶ一線に即して、神の恩恵と人間の応答、義認と聖化、知性と霊性の再統合を志向したウエスレーの神学的境地を明らかにされました。礼拝全体の構成はウエスレーの「讃美の心得」（**Directions for singing, Select Hymns, 1761** 所収）に基づき、水野隆一氏指揮による関西学院聖歌隊（創立1951年）の奉唱と会衆讃美すべてチャールズの作品を用い、全員で豊かな讃美の共同を体験することができました（詳細は前掲誌 **No.135, pp44－47** 参照）。

礼拝に続くシンポジウム発題の中で私は英国のメソジストスクール **Kingswood** を紹介しましたが、先般11月12－14日の三日間、オックスフォード南西バースから **Kingswood School** の **Gary M.Best** 校長一行が来日され、関西学院との間に高等部を軸とする友好提携が結ばれました。**Kingswood** 校は、1748年、ウエスレー兄弟の見事な共働により創立された **Boarding School** で、英国の

代表的パブリックスクールの一つに数えられる名門校です。

弟のチャールズが天性の詩人、英国を代表する讃美歌作者であった故に **Kingswood** は **"Born in song"** 「讃美の中で生まれた」学校と呼ばれ、兄ジョンの教育理念が「知」と「信」の統合を目標としたことから、**Kingswood Hymn** の一節に **"Unite the pair so long disjointed, knowledge and vital piety"** と謳われる理由も頷けます。

ジョン・ウエスレーにとっての「知識」（**knowledge**）とは、狭義の知見や思考能力に限られるものではなく、むしろ人間の生き方の根幹にかかわる自己理解の媒体（知恵）を意味します。他方「生きた信仰」（**vital piety**）とは、神の愛に依存する自己救済だけではなく、普遍的な隣人愛を通して身証される社会実践を志向します。そしてウエスレーはこの二つのベクトルの関連について端的に「愛が無ければ、すべての博識は見事な無知に等しい」（**"Without love, all learning is but splendid ignorance"**）と喝破します。

学会第二日目総会後の研究会では馬淵彰氏がチャールズに関する精緻な研究の一端を発表されましたが、翌週9月17日、日本聖公会東京聖三一教会で開催された第7回日本讃美歌学会でも「チャールズとルター」あるいは「チャールズとアングリカン讃美歌作者たち」と題する優れた研究報告があり、4年前の兄ジョンに続く弟チャールズの生誕300年を契機にわが国でも「チャールズ・ウエスレー再発見」の機運が高まりつつあるように思います。そのことを先日 **Kingswood** のベスト校長に話したところ、ベスト先生は「実は……」と言って鞆の中から大部な一冊の本を取り出され、黙って扉ページにサインをして私に贈呈して下さいました。手にとるとタイトルは **Charles Wesley - A Biography!** 昨年（2006）英国エプワースから出版された390ページの本格的な最新『チャールズ・ウエスレー伝』です。内容を検討した上で日本ウエスレー・メソジスト学会、讃美歌学会の共同企画で邦訳出版できないでしょうか。

今回、田添会長の肝いりで関学神学部と共催し、学会が関西圏で開かれた意義も小さくないと思います。1960年代、教団、大学紛争前までは、日本ウエスレー学会や更新伝道会の関西部会的な活動が相浦忠雄、W.ブレイ、原野俊雄、今田恵、印具徹、河辺満壺、松村克己、山崎治夫（以上関西学院）、宮崎明治（神戸栄光）、谷本清（広島流川）、山田忠蔵（呉平安）、大野寛一郎（福岡

中部)の各氏らを中心に地味ながら展開されていました。その後は日本ウエスレー学会も改組され、メソジストの活動拠点が首都圏に集中している感があります。これからは全球(グローバル)時代、エキュメニカルな潮流の中で、日本ウエスレー・メソジスト学会が各地の教会、メソジスト系学校との連携を強化し、全国的な広がりをもって会員増加にも努め、健全な発展を遂げることを希ってやみません。

(関西学院理事長)